

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	海と太陽の子城南スクール		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 17
○従業員評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月10日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	馬・動物と関わる機会が多い	週2回ホースセラピーを行っているので、一人ひとり個別で触れ合う機会を設ける。	ホースセラピーの内容が固定化し内容新たなプログラムを加える。
2	事業所に庭があるので、外活動がしやすい	外活動のレパートリー(鬼ごっこ、ドッチボール等)も豊富で、身体を動かすだけでなくルールを守ることも意識して活動を作っている。	今まで行ってきた活動(例鬼ごっこ→サメ鬼、刑ド口)のルールを複雑にすることで適応力の向上を目指す。
3	公認心理師がいるので専門的な支援ができる。	公認心理師が作成した計画書を元に、別の視点からの支援も増え、密度の濃い支援が提供できるようになった。	専門的支援を行う上で、実際の支援した内容を公認心理師の視点から助言をしていく機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が開放的なつくりなので、構造化が難しい	マンツーマンの個別対応が必要な場合、完全な音のシャダンが難しいので環境設定に工夫が必要。	仕切りをすることで出来るだけ視覚情報を減らしたり、場合によっては事務室を活用する等検討する。
2	保護者の方が、方デイとしてではなく、“預かってほしい”という感覚が強い	事業所の利用に慣れてくると“預かり”という意識が強くなり方デイを利用しているという感覚が薄くなる。	送迎時に実際に行った支援を伝え、支援を行った後の変化や成長について積極的に伝えていく。
3	地域との連携がしやすい	城南町野イベントが少ない事もあり城南町以外のイベントに参加する事は多いが城南のイベントに参加することは少ない。	自治会に参加する機会がある時にはイベントの提案を行い地域とのつながりを作っていく。